

組み合わせ基準 および組み合わせ手順

中部学生バドミントン連盟
中部学生バドミントン連盟北信越支部
中部学生バドミントン連盟 東海支部

本基準は、中部学生バドミントン連盟主催の大会で適用される。

○組み合わせ

各大会の目的に応じて、適切な基準で行う。

- ・上位大会の代表選考を目的とする大会では、競技力を適切に反映するため、手動作成によりパワーバランスを考慮した組み合わせとする。
- ・競技力向上や交流を目的とする大会では、機械的に公正性を担保するため、自動作成による配置を基本とする。

○大会の目的と組み合わせの考え方

- ・学生選手権ならびに大学選手権

各地区の入賞者および上位大会への代表者を決定することを目的とするため、実力差を考慮した組み合わせとする。

- ・学生新人選手権ならびに B 区分

参加制限により初級～中間層の競技力向上および地区交流を目的とするため、公平性を重視した組み合わせ（自動作成）を基本とする。

○中部学生バドミントン連盟主催大会

- ・中部学生バドミントン連盟

中部大学バドミントン選手権大会 (以下：中部大学)

中部学生バドミントン選手権大会 (以下：中部学生)

- ・中部学生バドミントン連盟北信越支部

北信越大学バドミントン選手権大会 (以下：北信越リーグ)

北信越学生バドミントン選手権大会 (以下：北信越学生)

北信越学生新人バドミントン選手権大会(以下：北信越新人)

- ・中部学生バドミントン連盟東海支部

東海大学バドミントン選手権大会 (以下：東海リーグ)

東海学生バドミントン選手権大会 (以下：東海学生)

東海学生新人バドミントン選手権大会 (以下：東海新人)

○組み合わせの内容は次の通り 5 種類に分類される。

- | | | |
|---|---------------|----------------------------|
| ① | 団体戦地区順位トーナメント | 対象大会：[中部大学 A] |
| ② | 団体戦リーグ | 対象大会：[北信越リーグ、東海リーグ] |
| ③ | 中部 B 自動抽選 | 対象大会：[中部大学 B、中部学生 B] |
| ④ | 個人戦手動作成 | 対象大会：[北信越学生、東海学生、北信越新人 A] |
| ⑤ | 個人戦半自動抽選 | 対象大会：[中部学生 A、北信越新人 B、東海新人] |

○組み合わせ共通事項

- ・参加数の確認
- ・シードの作成
- ・対戦の決定
- ・最終確認

※原則抽選後は変更しない

※自動抽選を用いる組み合わせ方法においてシード対象者が所定のシード数に満たない場合は、以降自動抽選とする。

シード対象者数がシード数を上回る場合はシード数のみをシード対象として扱う。

○以下各組み合わせ方法について記載する。

1. 団体戦地区順位トーナメント

対象大会：[中部大学 A]

- ・シード数

第8シードまで作成する。

※参加数が8未満の場合は、出場する全大学についてシード順を決定する。

- ・シードの作成方法

前年度の大会結果を基に上位4シードの地区順位を設定する。(例①)を参照

5から8シードも同様に選出後、Excelのランダム関数を用いて抽選を行う。ランド関数：=RAND()

順位決定はランダムに出力された数字をもとに大きい数字を上位とする。ランク関数：=RANK(対象,範囲,0)

- ・シード作成後の手順

大会運営ソフトアサミを使用、シード順に入力を終えたら、会長、委員長、副委員長など他の役員立ち会いのもと”自動組合せ”のボタンを押す。

※原則抽選後は変更しない

作成した組み合わせ表は会長、委員長が必ず確認し、その後公開する。

(例①) 前回本大会の結果が、

1位 A大学 (北信越)

2位 B大学 (東海)

3位 C大学 (北信越)

4位 D大学 (北信越)

の場合、シードは本年度[東海・北信越]支部リーグ春結果の以下の通りとする。

1位 (第一シード) 北信越 1位

2位 (第二シード) 東海 1位

3位 (第三シード) 北信越 2位

4位 (第四シード) 北信越 3位

2. 団体戦リーグ

対象大会：[北信越リーグ、東海リーグ]

- ・本戦

前回大会の入替戦後の結果を基に部 1 リーグ当たり 6(5)チームで作成する。

対戦の順番はアサミの試合番号に準ずる。

- ・入替戦

上部 5 位と下部 2 部の試合を入替戦 1 とし、上部 6 位と下部 1 部の試合を入替戦 2 とする。

3. 中部 B 自動抽選

対象大会：[中部大学 B、中部学生 B]

- ・＜開催基準＞

種目	開催基準	予選リーグ開催基準	敗者試合開催基準
団体戦	4 団体以上	16 団体以下	17 団体以上
個人戦	8 人（組）以上	64 人（組）以下	65 人（組）以上

○予選リーグ・決勝トーナメントの場合

- ・予選リーグの組み合わせ方法

1 リーグあたり 3 または 4 になるようリーグ数を分ける。

東海・北信越の参加数比を計算し、地区割合が均等になるよう各リーグに振り分ける。

先に参加数の多い地区を仮入力する。

残りの地区で”自動組合せ”を実行する。

先に入力した地区を戻し、”自動組合せ”を実行する。

以上により地区のバランスと自動抽選による公平性を保つ。

※原則抽選後は変更しない

- ・決勝トーナメント

リーグの番号をもとにトーナメントの同じシード番号に入力する。

リーグ番号がアルファベットの場合その順番で入力する。

例) A→1、C→3

○敗者戦の場合

トーナメントを設定せず”自動組合せ”を実行する。

1,2 回戦敗者にて同組み合わせの敗者を山の形に従い、2 回戦目を行う。

4. 個人戦手動作成

対象大会：[北信越学生、東海学生、北信越新人 A]

参加数	1～15	16～31	32～63	64～
シード数	0	8	16	32

○重要

配置について参加数に応じて、均等に配置されるようバランスシートを使用しながら作成する。

原則、学校内での配置が、トーナメントの順位順となるよう配置する。

参加数が9を超える場合：上位8名、8以下の場合：上位4名

また、委員長はこの配置が行われているか完成後に確認すること。

・シードの作成方法

前回成績ベスト32をもとに作成する。

ダブルスにおいて、ペアの組み換えがあった場合前回成績から1つ下げて扱う。

また、下げて扱ったペアと前回大会と同ペアが同成績内で存在する場合、前者を優先する。

前回成績でシードが埋まらない場合、1年生を除く参加数の多い学校から提出順1～3位を入れる。

・パック作成

シード作成後、シード下のパックを参加数の多い大学から最下位1人ずつ配置する。

・1年生を含む参加数の多い学校から提出順1～3位を入れる。

続いて参加数が4を超える大学から1名ずつ配置

以下校内配置バランスに従って作成すること。

トーナメント作成には以下の書類準備を行う。

・トーナメント山(A3用紙)

・バランスシート

・短冊→[前回成績、学内順位、選手名、大学名]を記載

5. 個人戦半自動抽選

対象大会：[中部学生 A、北信越新人 B、東海新人]

参加数	1～15	16～31	32～63	64～
シード数	0	8	16	32

○中部 A のシード決定

- ・(一社)全日本学生バドミントン連盟の日本学生ランキングポイント表を大会仕様に作成する。
開催年 3 月の高校選抜の結果が反映されたランキングポイント表を使用する。
中部の学生と所属不明を残し、全大学へ確認期間を 1 週間程度設ける。
- ・申込期限後、ダブルスのペアでポイントを合算し、全種目ポイント数順に並び変える。(不要な情報は削除)
全大学へ確認期間を 1 週間以内で設ける。
ポイント数が同じ場合、Excel を用いて抽選を行う。ランド関数：=RAND()
順位決定はランダムに出力された数字をもとに大きい数字を上位とする。ランク関数：=RANK(対象,範囲,0)
- ・ランキングポイント順にシードを決める。シード数を超えた選手については、順位順で当てはめる。
シード対象者が所定のシード数に満たない場合は、前回成績ベスト 32 をもとに作成する。

○その他の大会におけるシード決定

- ・シードは前回成績ベスト 32 をもとに作成する。

○シードの作成後について

以下シードを入力し、“自動組合せ”を実行する。

※原則抽選後は変更しない

※日本学生ランキングおよび前回成績でシードが埋まらない場合は、以降自動抽選とする。

※ダブルスにおいて、ペアの組み換えがあった場合前回成績から 1 つ下げて扱う。

また、下げて扱ったペアと前回大会と同ペアが同成績内で存在する場合、前者を優先する。

変更について

全日本学生バドミントン連盟組み合わせ基準に変更がある場合は、更新内容に従う。

作成 令和 8 年 6 月 1 日